

1. 第4回WGにおける議論の状況

【主な議題及び議論の結果】

1. HER-SYSの入力データの精度管理の仕組みづくり

→ 入力データの精度向上を図るため、以下の仕組みを構築することについて議論。

① 論理チェックの仕組みの導入

入力データが論理的に間違っていることが明確である場合、システム上、アラートを表示。（例：生年月日と報告年月日の先後関係の誤り等）

② 保健所・地衛研等によるチェックの仕組み

医療機関等で入力したデータを「保健所」で必ず確認。その上で、「地衛研」においても事後的にチェック。「感染研」はデータ全体を俯瞰。

→ 議論の結果、特段の異論なく了承。

なお、保健所でHER-SYSに入力した場合における「保健所の確認」については、入力した職員以外の者が確認することが望ましいとの意見あり。

2. 疑似症患者及び陰性の場合のHER-SYSへの入力

① 厚生科学審議会感染症部会において、次のインフルエンザ流行期も見据え、疑似症患者に関する発生届の提出については、入院症例に限ることとされた旨を報告。

② また、HER-SYSへの入力を必要（＝発生届の提出が必要）とするケースは、陽性患者及び入院症例の疑似症患者である旨を明確化することについて議論。（検査実績については、G-MISでの入力に一本化）

→ 議論の結果、特段の異論なく了承。

1. 第4回WGにおける議論の状況（続き）

3. HER-SYSの運用に関するアンケート結果（概要）

→ 8/24から9/2までを調査期間として実施した、医療機関等向けのHER-SYSの運用に関するアンケート（医療機関におけるHER-SYSの利用状況、入力者、導入に当たってのボトルネック等を把握するためのアンケート）結果の概要を紹介。

<アンケート結果のポイント> ※結果概要は参考1（P5からP10）

- ・ 回答があった医療機関（帰国者・接触者外来）の41%が「HER-SYSを用いて発生届を入力・提出」と回答。
- ・ 医療機関や自治体からは、「入力項目の多さ」や「疑似症患者や陰性患者についてまで入力することの煩雑さ」等の意見が寄せられているところ。

→ アンケート結果等を踏まえた更なる運用改善等を進めていくよう要請あり。

→ 一方で、データを入力させるだけでなく、サーベイランスに活用できるようなデータベースにする必要があるが、**現状の入力データが各種分析等にどの程度活用できる状況になっているか、現状を速やかに整理すべき**との意見あり。

2. 今後の進め方

WGでの御意見を踏まえつつ、データ入力の現状分析等を行うとともに、引き続き、入力項目の在り方、自治体・医療機関向けアンケート結果等を踏まえた更なる運用改善策の検討等も進めていく予定。

【参考：9/30のシステム改修事項】

- ・ 論理チェックの仕組みの導入
- ・ 発生届の検索結果表示数の大幅な増加（従来は10件分の表示→最大100件まで可能に）
- ・ 発生届が提出された際に保健所にメールが送付されるが、その際、「発生届が提出された」旨に加えて「ID」も連絡する機能を追加（=対象者本人の特定が容易に）
- ・ 発生届の様式でダウンロードできる機能を追加
- ・ 入力した情報をダウンロードする際の絞り込み機能を大幅に拡充（診断結果、検査方法、検体、年齢、性別等）等

HER-SYSのシステム改修の内容（一例）

発生届に論理チェックの仕組みを導入

→ 例えば、報告日が診断日よりも早い場合には、以下のアラートが表示

日付の整合性確認

以下の×が表示された日付は他の日付と前後関係が正しくありません。

時系列（昇順）

- ┆○ 生年月日 (入力なし) ※ 最も古い日付
- ┆○ 感染推定年月日 (入力なし)
- ┆○ 発病年月日 (入力なし)
- ┆○ 初診年月日 (入力なし)
- ┆× 検体採取日 (2020/9/30)
- ┆× 診断年月日 (2020/9/30)
- ┆○ 入院年月日 (入力なし)
- ┆○ 死亡年月日 (入力なし)
- ┆× 報告年月日 (2020/9/14) ※ 最も新しい日付

続ける

日付を編集

ダウンロード時の絞り込み条件の大幅増

→ 診断結果や検査方法等での絞り込みを可能にするなど、絞り込み条件を17項目増加

The screenshot shows the '感染症・保健所情報ダウンロードシステム' (Infectious Disease and Health Center Information Download System) interface. It features a search bar with '発生届' (Incident Report) selected. Below the search bar, there are several filter sections. The '絞り込み条件' (Filter Conditions) section is highlighted with a red box and contains 17 items, including '発生届の報告年月日', '診断結果の診断年月日', '検査方法の検査年月日', and '報告年月日'. The '絞り込み条件' section is also highlighted with a red box. The 'ダウンロード' (Download) button is visible at the bottom right.

參考資料

1. 調査の目的

帰国者・接触者外来（以下「医療機関」という。）における発生届の入力状況等を把握するとともに、HER-SYSの今後の運用改善に向けた検討の一助とすることを目的とする。

2. 調査期間

2020年8月24日～9月2日

3. 調査対象

自治体（都道府県、保健所設置市、特別区）及びHER-SYSを利用している医療機関

4. アンケート回収状況（9月18日までの回収分）

自治体（都道府県、保健所設置市、特別区）：113/155 医療機関 318

HER-SYSの運用に関するアンケート結果について（概要）

5. アンケート結果の概要

<対医療機関>

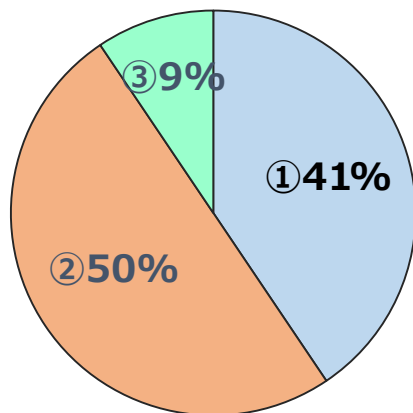
- 回答があった医療機関のおよそ40%が、「HER-SYSを用いて発生届を入力・提出」していると回答した。
- 「HER-SYSを用いて発生届を入力・提出」していると回答した医療機関のうち、80%以上が「主として看護職員や事務職員がHER-SYSへの入力を実施」していると回答した。
- HER-SYSを利用していない医療機関が挙げた理由として最も多かったのは「その他（今後使用予定、自治体から案内・連絡がない等）」であった。次いで、「紙での届出に不便を感じない」「ID等を取得していない」という回答が多かった。
- 運用上の改善を求める事項としては、「入力項目の多さ」や「タブの複雑さ」、「疑似症患者や陰性患者についてまで入力することの事務の複雑さ」を指摘する声や、「セキュリティ対策上やむを得ないこととはいえ、二段階認証の複雑さ」を指摘する声、「サインインの時間延長」を求める声、「HER-SYSでの入力に加えて、保健所からは別途紙ベースでの提出を求められる点の改善」を求める等があった。

<対自治体>

- 回答があった自治体のうち、発生届の代行入力の割合が半数以下の自治体は全体の25%程度。代行入力がほとんどないと回答した自治体は4%であった。一方、ほぼ全てを代行入力していると回答した自治体は全体の60%であった。
- 運用上の改善を求める声としては、
 - ・ 「入力項目の多さ」や「疑似症患者や陰性患者についてまで入力することの事務の複雑さ」、「二段階認証の複雑さ」や「サインインの時間延長」など、医療機関からと同様の要望に加えて、
 - ・ 「検索機能の改善（氏名の漢字検索等）」や「csvダウンロード機能の改善（期間を限定した検索、医療機関名での検索等）」、「入力した情報がどのように有効活用されているか等のフィードバック」を求める声等があった。

医療機関に対するアンケート集計結果（1）

【質問 1 : 発生届をHER-SYSで入力・提出しているか】

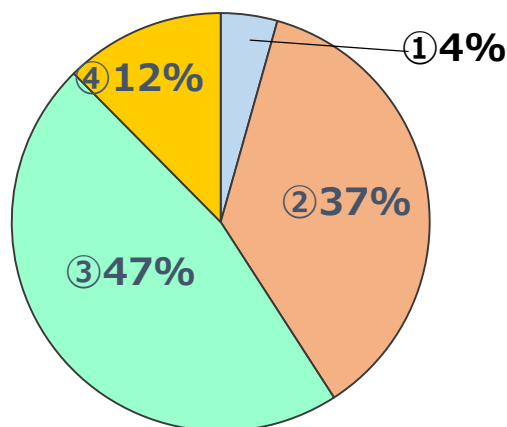


■ ① している

■ ② していない（紙ベース）

■ ③ その他（発生届を提出したことがない等）

【質問 2 : HER-SYSに入力しているのは主に誰か】（質問 1 で①（している）と回答した医療機関への質問）



■ ① 医師

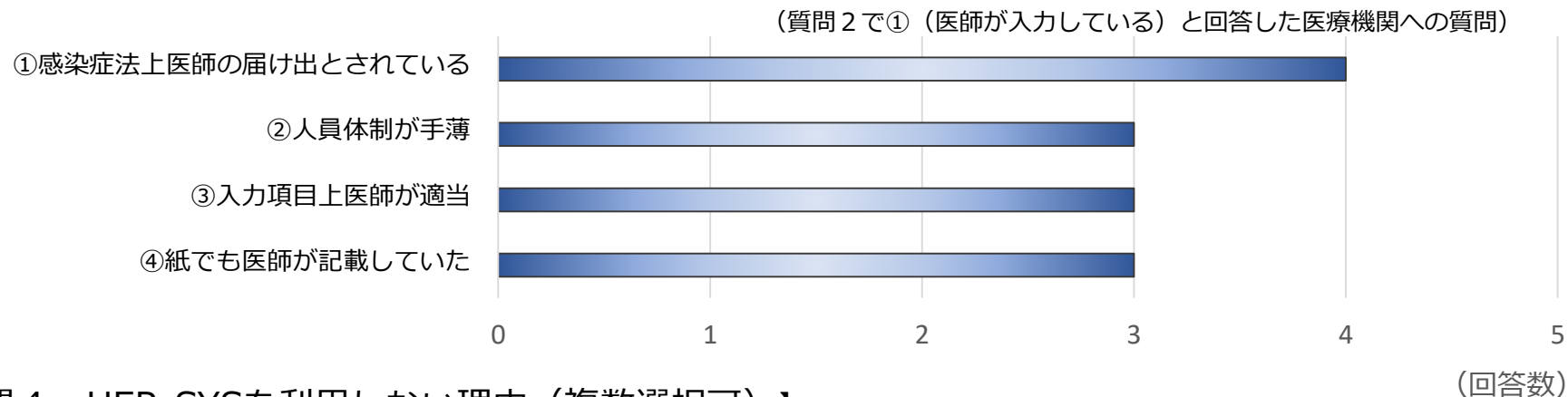
■ ② 看護職員

■ ③ 事務職員

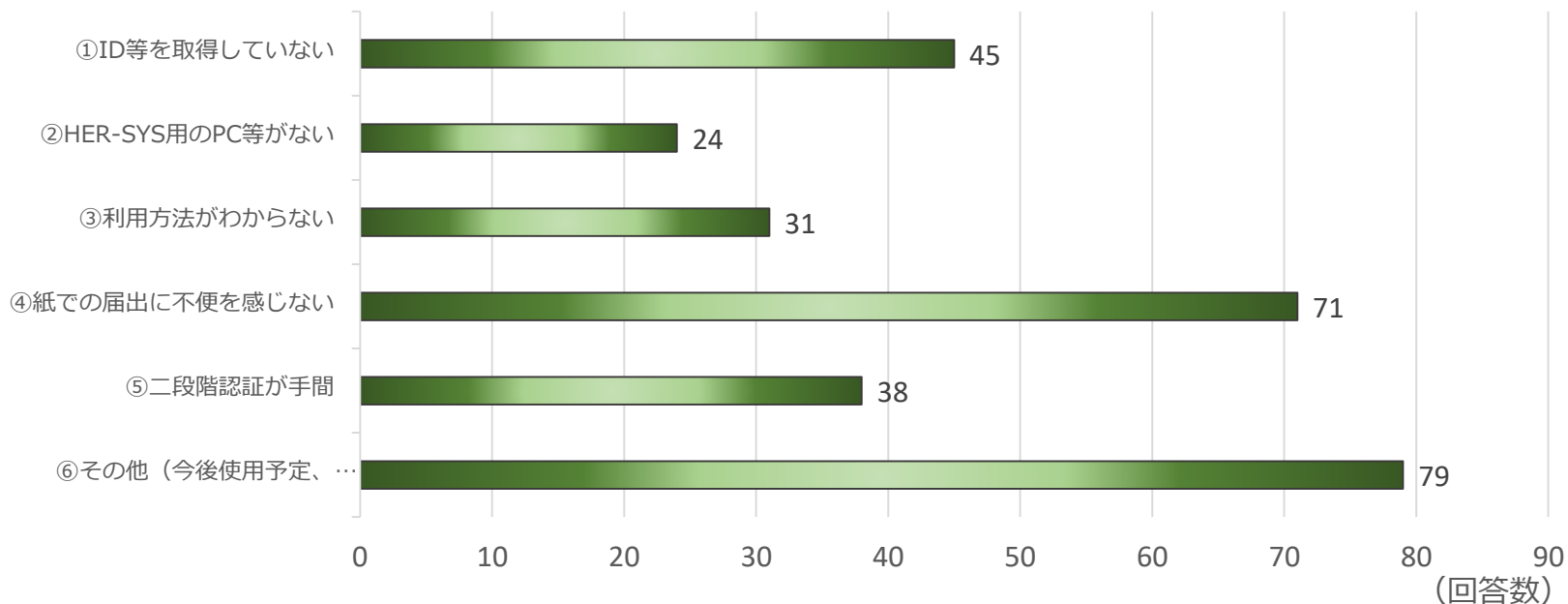
■ ④ その他（臨床検査技師等）

医療機関に対するアンケート集計結果（2）

【質問3：（医師が入力している場合）なぜ医師が入力しているか（複数選択可）】



【質問4：HER-SYSを利用しない理由（複数選択可）】



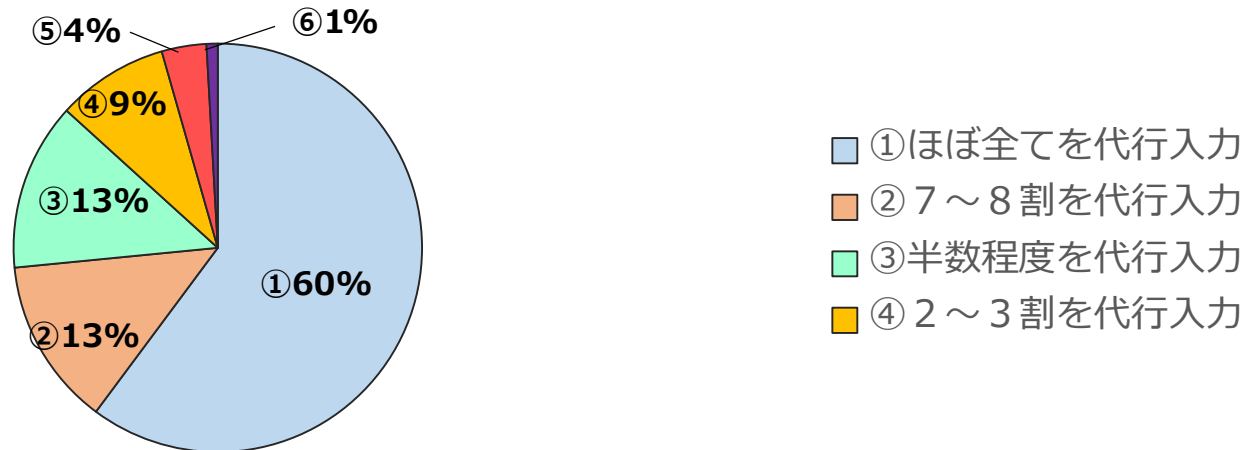
医療機関に対するアンケート集計結果（3）

【HER-SYSの運用全般に対する意見例（自由記載）】

- 紙で送付していた時代より便利になった。
- 初めは入力内容が多くタイムリーに操作しないといけないと戸惑ったが、現在は操作にも慣れうまく運用できていると思う。
- 入力項目が多く、入力が煩雑・時間がかかりすぎるため、現場の負担になっている。業務分担も困難。
- タブの種類が多すぎる、もう少しコンパクトにならないか。
- 検査陰性の場合は、患者の個人情報を入力不要とするか、必要最低限の項目とする等の扱いにしてほしい。
- セキュリティのためであることは理解するが、毎回、IDとパスワード・確認コードを入れる仕様はどうにかしてほしい。
- ログイン時の電話番号を利用した2段階認証を見直してほしい。（職員の私用携帯を利用したくない、外線番号が付与された電話機が限られている、等）
- サインイン時間が短すぎる。情報入力中に別作業をする必要がある場合等、サインアウトしてしまうことがあり、不便。
- HER-SYSで入力しても、保健所から紙ベースでの発生届の提出を求められる。
- 類似するデータ入力システム（自治体独自のシステム）があるので現場の業務が煩雑となっている。発生届については紙ベースで問題なく運用できている。

自治体に対するアンケート集計結果

【質問：医療機関から発出される発生届を保健所で代行入力することがあるか】



【HER-SYSの運用全般に対する意見例（自由記載）】

- 入力項目が多く、保健所、医療機関の負担になっている。
- 陰性を含め検査全数分を入力するのは負担が過大。
- 2段階認証が負担。また、サインイン時間を延長してほしい。
- 検索エンジンを充実させてほしい（氏名について、カナだけでなく漢字検索もできるようにする等）。
- CSVダウンロード時に、期間や項目等を指定できるようにしてほしい。
- HER-SYS入力した情報がどのように有効活用されているか、また、現場で有効活用できるかのフィードバックが欲しい。
- 入力した発生届を紙で打ち出せるようにしてほしい。
- ヘルプデスクが迅速に対応してくれる点は助かっている。医療機関への説明等の支援もお願いしたい。